

当別文芸の会だより NO.43

H25・10/30 (連絡先・河地良一 Tel.23-2103)

10月の「当別文芸セミナー」関心も新たに

10月26日(土)13:30から、当別赤レンガ6号(ふれあい倉庫)カルチャーホールを会場にして、町民自主企画講座「当別文芸セミナー」が開催されました。当日は小雨模様のあいにくの天気でしたが、会員12名、町民7名、札幌から北海道龍馬会理事3名の計22名のみなさんが参加されました。

今回は「北海道をもっと知ろう・北をめざす龍馬」をテーマに、北海道龍馬会事務局長の南雲富男氏を講師にお招きして、「坂本家一族と北海道の開拓」ー龍馬の見果てぬ夢ーと題して講演をしていただきました。

坂本龍馬は、たくさんの浪士の無残な死を惜しみ、北海道の開拓と世界を視野に貿易を夢見て、四回も蝦夷地(北海道)に渡る計画を立てましたが、京都の近江屋で刺客に暗殺されます。

しかし、龍馬にゆかりのある坂本家の一族が、明治になって北見の訓子府や空知の浦臼などに入植しています。そうした坂本家一族の系譜をたどったあと、北海道ジェイコム(株)が製作したDVD「一人でなりとも～北の龍馬列伝～」を視聴し、龍馬の熱い思いを心に描きました。

そのあと、「龍馬の志に何を学ぶか」を話題に、講師の南雲氏と当会代表河地の対談形式で文芸セミナーを進めましたが、会場からも龍馬への思いが話されるなど、尽きない話題、新たな関心などで、予定の時間となりました。

今回も町民自主企画講座で後援をしていただきました当別町教育委員会、参加されたみなさんにお礼申し上げて文芸セミナーの報告とさせていただきます。

次回11月の読書会は久保俊治の「熊撃ち」です

次回は11月16日(土)13:30から白樺コミセンです。文庫本(小学館)は、すでにお手元にお届けしてあります。久保俊治は熊撃ちのハンターですが、物語は猟犬フチとの感動に満ちたノンフィクションです。

また、久保俊治は昭和60年にテレビで放映された道東・標津の「大草原の少女みゆきちゃん」のお父さんです・・・お楽しみに。

今年度4月から始まった当会は今月で後半に入りました。また、毎回多くの会員が参加していただき、益々話題に花が咲き、興味の尽きない時間になっています。

今回10月例会は12名の参加でした。範囲は第四章第一節～第四節までを、話題提供者として渡辺さんが担当してくれました。

いよいよトウベツ道開削が完成し、やっとなトウベツに安住の地を得たのも束の間、伊達邦夷と阿賀妻は郷里に残っている旧臣たちの移住を促すことに決め、開拓使にその資金繰りを頼みに行くところから始まります。

ここで、渡辺さんは「例の漠然とした瞳であらぬ一角を眺めていた。」(249p1行目)という邦夷の表情に注目。どんな顔だったのだろうか、という素朴な疑問を提供されました。「伊達記念館」にある写真(伊達邦直の)を見ている会員からは、本庄陸男はその写真を通しての邦夷のイメージではないか、また、前の章にも邦夷の顔の表情が描かれているが、それもその写真を通しての描写であるように思われるという意見が出ました。また、最近新しい伊達邦直の写真が発見されたという情報もあり、そちらの写真も早く見たいものです。

また、「そこに新しい税庫が出来たように、川の向こうの官に近い土地は日毎に変わっていたのだ。」(253p15行目)からの文章では、岩出山からの邦夷ら移住者と当時の官を通しての開拓民たちの暮らしぶりや待遇があまりにも違うのではないか、という第2の話題提供がありました。トウベツに移住してきた者たちは移民扶助規則というものに則って移民してきたのではないので、その処遇は当時不公平極まりなかったのではないだろうか、というのが他の会員の感想です。それにしても、トウベツの移住者にとってはこれらの光景を目の当たりにして、随分心穏やかではなかっただろうという感想もありました。

そして、第3節「—こみ入った複雑な気持ちであった。」(267p)から始まる文章は、久しぶりに郷里についた邦夷と阿賀妻の気持ちがこれから起こりえるだろう諸々のことを予告しています。郷里に残った神山外記家老や邦夷の奥方・志津子の言葉を通して、郷里の残り組みの気持ちが印象付けられていることに注目しました。

最後に「本当にトウベツ(北海道)に移住することが良かったのか、またはそのまま郷里に残って邦夷は華族という職を戴き、臣民は農家をしながら暮らすことのほうが良かったのだろうか」ということが話題になりました。

これらは複雑な問題でもありますが、もし邦夷が北海道に移住してこなかったら、ここに『石狩川』の小説は無かったことですし、この『石狩川』を読む会もなかったと思います。ただ、あまりにも過酷な移住であったトウベツの人々のことを考えると、私たちには複雑な思いが残ります。さて、今後、第2次移住者はどうなるのでしょうか。また邦夷は志津子夫人とともにトウベツの地へ再び赴くのでしょうか。

次回は11月11日(月) 13時30分より、第4章第5節～第8節、286p～329pまで。話題提供者は竹原さんです。

【文責:堀江】